サマーコンサート

曲目

1部

1.

神戸　結衣（カンベ　ユイ）

所属：農学部3年

作曲者：久石譲

曲目：SUMMER

曲紹介

今回私が演奏する「Summer」は、1999年公開「菊次郎の夏」という映画のメインテーマです（ちなみに監督はビートたけしさんです。やや横暴なおじさんと小3の少年が一緒に旅をするコミカルかつちょっとアバンギャルドな映画となっています）。この曲は、数々のジブリ作品の楽曲を手掛ける久石譲さんが作曲された

もので、どこかで聞いたことがあるという人も多いと思います。曲全体としては6分半ほどの長さになりますが、今回は約4分ほどの短縮バージョンのものをお届けしたいと思います。稚拙な演奏ですが、温かい耳で聞いて頂けると幸いです。

人物紹介

神戸さんは筆者と同じ農学部生物環境工学科3年の人です。とてもしっかりしている方で、学科の授業やその他多くの場面でとても頼りになります。彼女はピアノクラブ以外にも文芸部に所属しているらしく、そちらでは副部長を務めているのだとか何だとか(うろ覚え)。普段スマホ触るか寝るかみたいな生活をしている筆者からすると趣味に読書と音楽を嗜む彼女はとても素敵に思えちゃいます(笑)。そんな素敵な人が弾く曲はどんな音色を奏でるのでしょうね。

2.

川満　龍平（かわみつ　りゅうへい）

所属：農学部応用生命科学科4年

作曲者：シューマン

曲目：子どもの情景 Op.15より詩人のお話

曲紹介

シューマン　Op.15「子供の情景」より「詩人のお話」

「子供の情景」は、「見知らぬ国」、「不思議なお話」、「鬼ごっこ」、「おねだり」、「満足」、「重大な出来事」、「トロイメライ」、「暖炉のそばで」、「木馬の騎士」、「むきになって」、「怖がらせ」、「眠りに入る子供」、「詩人のお話」の13曲からなります。「トロイメライ」は１番人気な曲で、「見知らぬ国」は図書館の下校のBGMとしてよく使われています。その中でも今回は最後の「詩人のお話」を弾こうと思います。この曲は２番目に人気な曲で、どこかエモいんでおススメです。

人物紹介

ピアノクラブ部員には「部費の支払い義務」があり、基本的に4月の入部届、継続届とあわせて払うことになっています。ただ部長によると支払い状況は芳しくない(特に上級生)らしく、川満先輩もその一人だそうです。例会のたびに「部費まだ払ってないよね？」と詰め寄られては「今度払うから～」とごまかす姿が筆者には印象に残っています。

雀荘でバイト？を始めた川満先輩。果たして部費を払うことはできるのでしょうか。というか早く払って。

3.

神谷　啓吾（カミヤ　ケイゴ）

所属：工学部3年

作曲者：清塚信也（キヨヅカ　シンヤ）

曲目：Baby, God Bless You

曲紹介

Baby God Bless Youはピアニストの清塚信也さんが作曲を手掛けた、ドラマ「コウノドリ」のメインテーマです。どんな未来があるにせよ全ての新しい命の誕生に対する祝福を表現して作曲されたそうです。ゆったりとした旋律が特徴的で温かくも生命力のみなぎった一曲となっています。また、2020年のフィギュアスケート全日本選手権では紀平梨花選手がフリープログラムにこの曲を使用し、4回転ジャンプを成功させたことでも話題となりました。私がサマーコンサートでこの曲を選曲した理由の一つは、紀平選手の4回転挑戦に感銘を受けたことです。私にとってBaby God Bless Youは難易度が高い曲で挑戦的ではありますが、精いっぱい心を込めて演奏します。この曲中で私が最も好きな部分は曲のクライマックスに相当する転調後の壮大なメロディーです。演奏においては、祝福の気持ちや感動的な背景を思い浮かべ、情熱的な演奏が出来ればいいなと思います。
サマーコンサートにご来場いただいた方には演奏をとおして、何か少しでも心地良い気持ちになっていただけたら嬉しいです。

人物紹介

高校時代の友人視点から他己紹介させていただきます。神谷啓吾くんは、高校時代シジミの研究を３年間していました。その結果、彼はシジミの殻の状態を見ただけで、シジミの育った環境の栄養状態を推測することが出来るようになりました。変わった一面を紹介しましたが、普段の彼は行動力や決断力にあふれた人です。

サマーコンサートに向けて練習を頑張っているそうなので、温かい目で演奏を聴いてあげて下さい。

4.

浅井　久悟（アサイ　キュウゴ）

所属：農学部3年

作曲者：ベートーヴェン

曲目：ピアノソナタ第8番ハ短調 Op. 13 第2楽章

曲紹介

今回私はベートーヴェンのピアノソナタ8番『悲愴』を弾きます。この曲は数あるベートーヴェンのピアノソナタの中でも特に有名な3大ピアノソナタに数えられる曲です。ベートーヴェンは耳が聞こえなくなっていったことが知られていますが、この曲は丁度耳が聞こえなくなり始めた頃に作曲されたそうです。ベートーヴェンのソナタは後世の人間によって勝手に題名がつけられたものが

多いのですが、この曲は初版から悲愴大ソナタという題名がつけられており、公認の題名を持っていたのではないかと考えられている曲です。音楽家としては何よりも大事といってもいいような聴力が悪くなっていく状態では作曲した曲に悲壮と名付けるのもわかりますね。

人物紹介

★★★★★　素晴らレい！！！！

2022年7月30日

持ち前ゐ社交力と溢れんばカリゐ力刂ヌマを活カレてピマノケラブゐ現部长とレて大活躍レていゑ浅井くん！

そんな彼ゐ素晴らレい演奏は一聴ゐ価價あリ！貴様も聴けば思わず聞き入ってレまラこと间违いなレ！！！！

このレビューは参考になりましたか？

役に立った　　役に立たなかった

5.

坂野　遼太郎（バンノ　リョウタロウ）

所属：工学部2年

作曲者：ブラームス

曲目：ピアノソナタ第3番 ヘ短調 Op.5 第1楽章

曲紹介

ブラームスの曲を初めて弾いたのは（多分）4年前で、彼の音楽の重厚さにハマったのを覚えています。今回のソナタも「なんかかっこいいから」という理由で弾き始めたのですが、音域も強弱も幅広くてどえらい難しいです。10年以上ピアノを弾いてきたのですが、指が足りないと本気で思ったのは初めてです。ブラームスの分厚い音楽を楽しんでいただけたらと思います。ところで、自分は「ドイツ三大B」の中ではブラームス推しなのですが、皆さんは誰推しでしょうか。

人物紹介

僭越ながら次期エースとなるであろう坂野君の紹介をさせてもらいます。朧げな記憶では、彼は確か長野か岐阜または愛知出身で、一人っ子だったような上に姉がいたようないなかったような。（妹だったかな…？）まぁそんな基本的なプロフィールは本人に聞いてください。彼のキャラクターについては先輩である私たちの力不足で暴ききれていない要素が多いと思われますが、優しい子です。筆者（老害）のダル絡みにも真摯に対応してくれるし、「連弾しようよ！（思いつき）」と言えば次の例会には弾きやすそうな連弾用の楽譜を持ってきてくれるし。ホンマいい子。院試終わったらコンサートで連弾しようね！

　そんな坂野君なんですがピアノまじうま。ピアノクラブたるもの、一定数ピアノ上手い勢がいる訳ですが彼もそのうちの一人。

時々知らん曲弾いてるからミーハーの筆者としてはおもろい。今回はブラームスって噂だけどほんとかな。楽しみやなぁ。麻雀興味持ったらいつでも言ってね！教えるから！

6.

笹木　元太（ササキ　ゲンタ）

所属：理学部数学科3年

作曲者：ショパン

曲目：軍隊ポロネーズ

　　英雄ポロネーズ

曲紹介

ポロネーズとはフランス語で「ポーランド風の」という意味であり、ポーランドの貴族がダンスをする際に使われていた音楽が起源となっているようです。ゆったりとした3拍子で「タンタタタッタッタッタッ」というリズムが随所に散りばめられているのか特徴的です。ショパンはピアノ独奏のポロネーズを全部で16曲作曲しています。今日有名な「ポロネーズ」というと1835年から1846年にかけて作曲された全7曲で全部だと思われる方も多いのではないかと思いますが、実はショパンは少年時代に他にもポロネーズを作曲していました。

1835年より始まる全7曲のポロネーズはショパンの祖国であるポーランドで起こった11月蜂起の結果ロシアに支配されてしまった祖国に想いを寄せて作られた作品だと言われています。

今回はそんな7曲からパワフルで重厚な和音を楽しめる3番の軍隊ポロネーズと、もはや紹介などいらないショパン最高傑作とも名高い6番の英雄ポロネーズを選んで演奏致します。

人物紹介

本名笹木元太。米花町出身でその昔少年探偵団に所属していた彼は某コナンくんをはじめとした探偵団仲間と共に数々の難事件を解決に導いてきたとか何とか…そんな彼ももう大学3年生とは、時が経つことの早いものだ…

ん？それは笹木ではなく小嶋の方の元太だって？な、何のことやら、、、汗

2部

7.

青山　翔（アオヤマ　カケル）

所属：歯学部2年

作曲者：ドビュッシー

曲目：アラベスク1番

曲紹介

アラベスク第1番はニ〇リのCMなどで多用されていて非常に有名なので誰しも一度は聴いたことがあるかと思います。

しかし、"アラベスク"とは「アラビア風の」といった意味で、アラビアの建築の装飾を指すという事はあまり知られていないと思います。音楽では、装飾的あるいは幻想的な曲の標題として用いられています。

「第1番」はやわらかいアルペジオによって透明な色彩感が織りなされている曲とされているので、流れるような透明感のある演奏が出来るように頑張ります。

人物紹介

青山翔くんは、筆者の中学・高校の同級生と同姓同名の、2浪のお兄さんです。好きな作曲家はバッハ、趣味はランニング、好きな歯磨き粉はシュミテクトだそうです。特技は素数早覚えというそうなのですが、初めて彼に会った時に「素数を数えて」とお願いしてしまったせいで今も一人で素数を数えています。演奏中に「2,3,5,7...」と聞こえてきたらきっと彼が素数を唱えているのでしょう。え？なんでずっと数えているのに数えているのがそこなんだって？

.....またこの時間（とき）を繰り返している.....!?

繰り返してるのは受験でした。2浪だからね。3度目の正直を乗り越えた彼は、演奏はストレートで終えられるのでしょうか。こう5期待。存分に彼にプレッシャーを懸けたところで、筆を置かせていただきます。

8.

永山　聖士（ながやま　まさし）

所属：医学部保健学科

作曲者：ショパン

曲目：バラード第1番 Op. 23

曲紹介

ピアノの詩人と教科書で知って25年も経つのですが、ようやくここまでたどり着きました。「戦場のピアニスト」で聞いたのが初見で、ショパン弾きにはゆずれない曲目なのでしょう。

時間通しの演奏まで詰められたのでエントリーしましたが、これからもじっくり弾きこみたいと思っています。お楽しみに。

人物紹介

永山さんは社会人から大学に入り直した方です。以前なんかの機会で一緒に居酒屋に行ったときには20代前半には醸し出せないような大人の余裕を感じました。

そんな彼は、ピアノクラブ部員の中でも比較的活発な方で、以前は例会やサークル会館でよく見かけました。しかし、医学部の4年にもなると実習で忙しいみたいで、最近は見かける頻度が少し落ちてしまい、残念に思っていました。そんなところ、忙しい中で時間を作って今回のサマーコンサートに出演いただけることとなりました。彼の力強い演奏でのショパンのバラードが聴けるのがとても楽しみです。

9.

成家　康太（ナリヤ　コウタ）

所属：薬学部5年

作曲者：ショパン

曲目：バラード第3番 Op.47 変イ長調

　　バラード第4番 Op.52 ヘ短調

曲紹介

バラードの中でも大好きな2曲を演奏します。
バラード3番は水の精(オンディーヌ)とイケメン男の恋愛をテーマにしたポエムを題材としたとされています。
ピアニストの中でも、水の精が男を誘惑したとして、水の精が誘惑した様子やその葛藤を表したと解釈している人が多いです。水面の波面を表しているような部分や、執拗に迫っている様子、そ

して葛藤に見舞われる様子などが精密に表現されています。ショパンが残している4つのバラードの中でも唯一長調(ハッピーエンド)で終わる作品であり、オンディーヌと男の恋愛は見事成就したと言えるとおもいます。
ただ、ショパンがこのような執拗な誘惑をする女性が好きだったと考えると、彼の性格は…
バラード4番は、作品番号52であり、この時期は幻想曲、バラード3番と言った名曲が作られたショパンが体調を崩していた年の翌年、体調が良くなったとされる最初の年にパリにて書かれた曲です。また、愛人サンドとの暮らしもうまくいっており、とてもコンディションの良い中書かれた曲です。
　さて、バラードとは「物語」という意味が込められており、中でも特に4番では起承転結を意識して作られている気がします。また、明確な物語が知られている3番などとは違い、どのような物語を基に作られたかはっきりしない曲でもあります。(なのでこの先は自分の解釈です。)
　故郷ポーランドで聴こえる遠くの教会の鐘の音からはじまる第一部では、ポーランドで英雄になったり何も成し遂げることが出来なかった「故郷への想い・悔恨」について描かれています。第一部より重厚なフレーズではじまる第二部では、何も成し遂げられなかった悔しさから「自分への怒り」が込み上げてくる中で、唯一の希望である愛人サンドへの出会いが描かれています。第三部では猛烈な速さでもう一度自分の人生について考え直しています。その猛烈な速さの中にも決して忘れることのない祖国への思いが散りばめられています。そして最終部では必死に生きていくこと、密度の濃い生活を送ることを怒涛のスピードとメロディーにのせて表現しています。
　大曲2曲で20代前半も終わりに差し掛かったいま体力的に弾き切ることができるか心配なところではありますが、楽しんで弾いていただけたらと思います。

人物紹介

前前ピアノクラブ部長だった人です。実習で忙しいはずなのに現部長に押されて出演する流れに持ってかれてました。

せっかくだから面白いネタをと探したけれど、名前の中に徳川将軍が隠れてることくらいしか出てきませんでした。そういえばこの間音符のモノマネを披露してくれました。全音符から32分音符まで披露してくれましたが、絶妙に似てませんでした。もし見たい人居たら声かけてみてください。シャイ()らしいのでやってくれるかは分かりません。

10.

山本　彩華(ヤマモト　アヤカ)

所属：経済学院1年

作曲者：メンデルスゾーン

曲目：厳格な変奏曲 Op.54

曲紹介

この曲は、メンデルスゾーンらしいシンプルな変奏曲の構成になっており、第17変奏まであります。バッハに多大な影響を受けたことによる、シンフォニアのような変奏も聴きどころです。主

題がどのように変化していくのかをお楽しみいただけたらと思います。

人物紹介

最近会っていないのでネットの力に頼ってみることにしました。

診断結果とそのコメント(by 筆者)です。

【診断結果①】

パワーに溢れ、自分に非常に自信のある人間です。その人間力で全ての物を手に入れれますが、人への感謝を忘れがちです。

【コメント】

努力家で根は真面目なので、しっかり物事は成し遂げることはできます。

確かに、人への感謝は忘れがちです(笑)

私はよく叩かれます。

【診断結果②】

慎重に物事を進められる冷静なタイプです。その良さが時に冷血漢と見られぬように注意した方が良さそうです。

【コメント】

物事に没頭しすぎて周りを見れなくなる癖があります。

私はこの前学祭であやかのことを見かけて声をかけたのに、見事に無視されました(笑)

【診断結果③】

きっちりと最後まで物事をやりきれるタイプで、途中にトラブルがあっても自分の器量や仲間の手助けで最終的には問題は解決します。

【コメント】

ここまでしっかりと当たっていて驚きしかありません。周りにしっかりと相談できる人がいます。本当に不真面目でコーティングされた真面目といった感じです。

【診断結果④】

やはり努力は必要不可欠ではありますが、その努力に天運が報いてくれるので最終的には成功をおさめられる人生です。

【コメント】

すごい強運の持ち主だと思います。

運のお裾分けをしてもらいたいものです。

【診断結果⑤】

生涯常に同性にも異性にも好かれる素晴らしい人生を送れます。おごらずにいれば何も問題はありません。

【コメント】

確かにみんなに好かれています。いいキャラしてます。

ただ、奢ってください。待ってます。（そのおごるじゃないか(笑)）

【診断結果⑥】

必ずトラブルや邪魔が入り仕事がうまくいきません。独立などは借金だけ残り終わるので、絶対にしてはいけません。

【コメント】

あることに没頭してしまいがちな性格なので、確かに他のことに気を取られてしまうと大変かも。

大事なものはいつまでも大切にしてください。

【診断結果⑦】

自我を抑える事にだけ集中すれば、家庭内は全てうまくいく。トラブルも起きるが最終的には解決出来ない問題ではない。

【コメント】

家族や周りの人は大切に。

あーだこーだ書きましたが、とてもとても話してて楽しい人ですよ。

また飲みに行こうね。

演奏期待しています。